

日本の取り組み

「伊方 1 号機の RV 炉内構造物一体取替工事における線量低減対策」

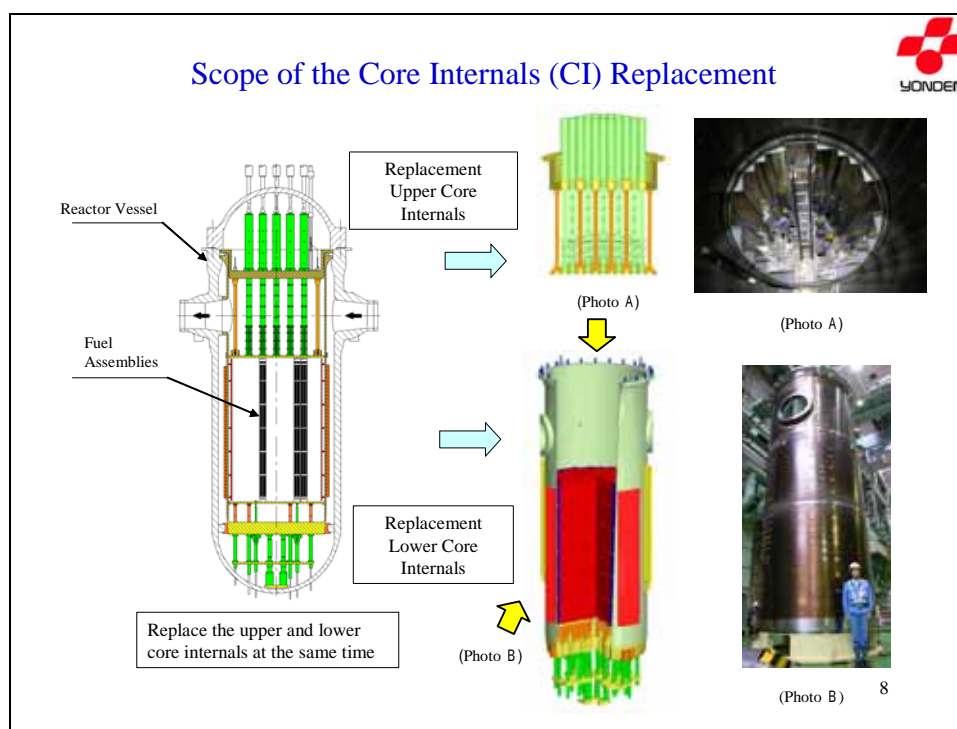
四国電力 榎本康之氏



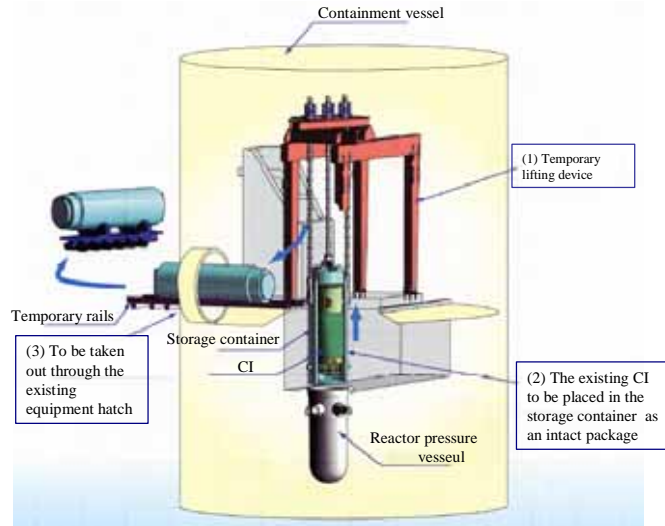
伊方 1 号機の炉内構造物一体取替工事に際して施された様々な線量低減対策、

- (1) 事前作業計画
- (2) モックアップ訓練
- (3) 仮設遮へいの設置
- (4) CI 貯蔵コンテナへの低部プレート挿入作業の遠隔・自動化
- (5) 作業者への警報

について詳しく説明された。世界で初めての PWR 炉内構造物一体取替工事であり、事前の作業計画、線量低減対策は注意深く検討された。これらの対策の効果で、作業線量は計画線量を大幅に下回ることとなった。現在、1 号機の経験を生かして、2 号機の CI 取替作業を実施中である。



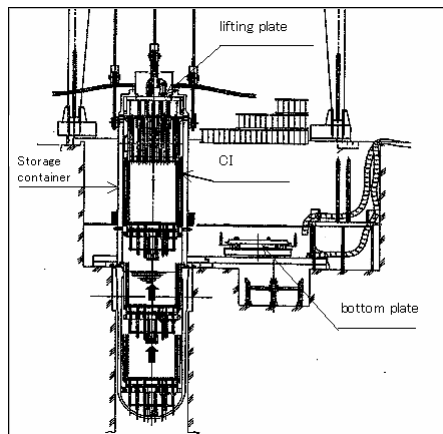
Conceptual Drawing for the Core Internals (CI) Replacement



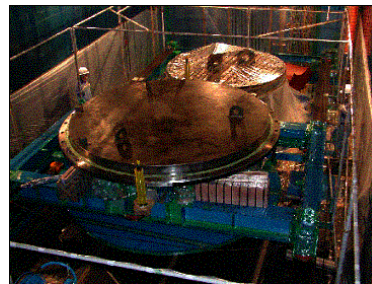
10

(4) Automation of the work

Installed the bottom plate to the CI storage container automatically by remote-control to reduce exposure.



【How the bottom plate was installed】



29